

国立大学附属幼稚園からの提案6

附属幼稚園における子育ての支援



目次

発刊にあたって	1
親としての成長を支える子育て支援	岩手大学教育学部附属幼稚園 2
子どものよりよい成長を願う子育て支援	福島大学附属幼稚園 3
子育て支援の拠点としての附属幼稚園の役割	一学内および地域の子育て支援の可能性を探る— 東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎 4
幼稚園と家庭が手を携えて	一子どもが育ち、保護者が育ち、教師も育つために— 大阪教育大学附属幼稚園 5
保護者・家庭の子育て力を高める子育て支援	兵庫教育大学附属幼稚園 6
附属幼稚園に求められる子育て支援	奈良女子大学附属幼稚園 7
親と子の育ちを支える子育て支援	島根大学教育学部附属幼稚園 8
平成23年度 全国国立大学附属幼稚園研究テーマ等一覧	9

平成23年3月

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

発刊にあたって

国立大学附属幼稚園は、大学と連携をとりながら幼児教育にかかわるさまざまな研究に取り組んできました。それらの研究成果の一部をリーフレットにして全国の教育機関や関係者に発信するようになって今年度で6年目を迎えました。昨年度のリーフレットも全国各地の研究会等で活用され、附属幼稚園が地域のモデル校としての存在を示すのに一役かっているとのうれしいご報告を受けています。

本年度は「附属幼稚園における子育ての支援」をテーマに、先進的な実践例をお届けすることができました。ご協力いただいた幼稚園の皆様には感謝申し上げますとともに、まさに今日的課題についての研究成果をぜひとも全国各地でご活用いただきますようお願い申し上げます。

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

部会長 野田 寿美子

「教育支援」としての子育ての支援

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園においては幼児期の教育を幼児の特性を踏まえて、環境を通して行うことを基本としているが、また、保護者及び地域住民その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなど、家庭及び地域における幼児期の教育の支援に努めるものとされている。

こうした幼稚園の役割のうち、今日ではとくに子育ての支援の観点から、地域の子どもの成長・発達を促進する場、遊びを伝え、広げる場、保護者が子育ての喜びを共感する場、子育ての本来の在り方を啓発する場、子育ての悩みや経験を交流する場、地域の子育てネットワークづくりをする場など、多様な役割が期待されている。幼稚園がそこに通う幼児の教育の場としてだけでなく、その専門性を生かして、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たすよう、幼稚園機能の拡大が求められているのである。

幼稚園の創設者フレーベルは、幼稚園を幼児と母親教育の場として構想し、草創期の日本の幼稚園でもフレーベルの思想を受容して、母親教育を行い、家庭教育の改善を目指した。そこでは幼稚園教育の内容・方法を修得した母親がそれを家庭で行えば、その家庭は幼稚園になると考えられていた。そして全ての家庭が幼稚園となる時、知・徳・体のバランスの取れた近代的な教育が実現できるとされたのである。その後、幼稚園は就学準備教育的色彩を強め、もっぱら幼児の教育施設として普及・発展を遂げていったが、家庭や地域の教育機能の低下が問題となる今日、再び、幼稚園には家庭や地域社会の子育てを支援する場として、その教育機能を発揮することが期待されている。幼稚園が幼稚園という場を超えて地域の親たちの教育支援を行い、幼児期にふさわしい教育を実現すること、それは今日求められていることであると同時に、フレーベルの教育精神にもつながるものであるといえよう。

文部科学省初等中等教育局幼児教育課

幼児教育調査官 湯川 秀樹

親としての成長を支える子育て支援

岩手大学教育学部附属幼稚園

子どもが育つ 親が育つ幼稚園

幼稚園は、幼児期にふさわしい生活を通して子どもが育つ場であると同時に、保護者が親として成長していく場でもある。保護者の親としての成長が何より子どもの育ちにつながる。そこで、本園では、幼稚園という場を生かした、幼稚園だからこそできる保護者への成長支援を行っている。

■ 一人一人の子どものよさや育ちを感じ理解する場

◆ 保育参加

- ・主体的に保育に参加することで、保育する喜びを味わったり、子どもの育ちを感じ取ったりする。また、教師や他の保護者が子どもとのかかわる姿から、子どもへの接し方を学ぶ。
- ・様々な子どもたちと接する中で、一人一人の子どもに親しみを感じたり、よさに気づかされたりして、自分の子どもだけではなく、他の子どもにも目を向け、みんなで子育てをするという意識が醸成される。

保育参加の一日の流れ

8:45～9:00 打合せ
9:00～11:00 保育参加
11:00～12:00 ミーティング



実施時期

年少組：6月、11月、2月
年中組：6月、9月、2月
年長組：5月、6月、1月

■ 保護者自身の子育てを振り返る場

◆ ミーティング

- ・保育参加後、一緒に保育をした保護者や教師と、保育の中で感じたことを話し合う中で、子どもの育ちや遊びの見方や理解の幅が広がったり、自分自身の子どもへのかかわり方を振り返ったりすることができる。

◆ 談話会

- ・毎月の誕生会后、誕生児の保護者、園長、副園長が参加。
- ・互いに子どもの様子について語り合う中で、子育ての不安や悩みを共有したり、そういう思いを抱えているのは自分だけではないという安心感を得たり、子育ての先輩の体験談から子どもの姿を肯定的にとらえ、前向きに長い目で見守っていかうとする気持ちが生まれてきたりする。

■ 保護者自身が楽しみ、保護者同士が交流し、つながる場

◆ クラブ活動

- ・保護者自身の自主的な活動。学級や学年を越えた同好の保護者が集い、活動を楽しみ交流している。
- ・活動の成果は、誕生会などで披露し、保育に還元している。
- ・子育てにかかわる情報を共有したり、互いに支え合って助け合ったりする関係がはぐくまれていく。

コーラス・人形劇・絵本
絵画・さんざ踊りの5つのクラブ



コーラスクラブによる「ハンゼルとグレーテル」

《クラブに参加して ～保護者の声～》

- *親も人のつながりで安心する。園を通して皆の親の目で子どもを見てもらえる、そういうつながりがもてる機会であり有意義。
- *自分自身が充実し、親の頑張る姿を見せられた。
- *「やればできる」と自信になった。子どもの笑顔にやりがいを感じた。
- *学級を越えてぐっと仲良くなり、クラブ外でもいろいろ助け合ったりできるのがよい。

問い合わせ先：岩手大学教育学部附属幼稚園 〒020-0807 盛岡市加賀野三丁目9番1号

TEL:019-622-4691 FAX:019-653-4608 E-mail:efyotien@iwate-u.ac.jp

子どものよりよい成長を願う子育て支援

福島大学附属幼稚園

子育て支援のねらい

家庭や地域の教育力の低下への対応

どのように子育てすればよいかわからない、子どもに過度に期待を寄せる、子育てを楽しめない、保護者同士のコミュニケーションが十分にできない、家庭内でのトラブルを抱えている保護者等への支援
大学と連携し、その専門性を生かし、保護者との協働的な関係を築く
どのような「親と子の育ちの場」となることが幼児の生活の充実につながるのか探る

子育て支援の実際

保育者と保護者で綴る

学びの物語

- ・保育者と保護者で綴る子どもの「良さ」のエピソード記録
- ・大学の「学びの物語」研究との連携

情報提供

園・学級・保健だより

- ・保護者と幼稚園、保護者と子ども、保護者同士、幼稚園と大学との理解をつなぐ
- ・週に1～2回の発信

未就園児などの

一時預かり保育

【未就園児】

- ・参観日、PTA教育講演会などの時に園児の弟妹を一時的に園で預かる
- ・保育担当者は、地域保育ボランティア（修了園児保護者）や学生ボランティアなど
- 【園児・小学生】
- ・附属小学校行事の際に試行

保護者を育てる場としての幼稚園

保育参加日

- ・保育に参加し、ともに見取る
- ・親子で造形活動や体づくりなども実施



養護教諭による体や心の カウンセリングの場

みんなの保健室

【保護者との話し合いテーマ】

- おやつについて
- どれくらい体重増えたかな
- インフルエンザワクチン
- 幼児期の食事
- 睡眠と家庭での食事
- おねしょについて
- インフルエンザの予防



地域を含めての支援

場の提供

地域未就園児及び保護者

- ・オープンほっとタイム
プール開放、親子体操、園庭開放
教育講演会など

園児及び保護者同士

- ・ほっとタイム（園庭開放と相談）
- ・フリーほっとタイム（園庭開放）

修了園児及び保護者対象

- ・1年生ほっとタイム

情報提供・大学との連携

教育講演会

- ・PTAとの共催
「早期英語教育について考える」
衛藤 安治 先生
- ・地域への子育て支援事業
「子どもの眠りについて」
福田 一彦 先生
- ・PTAとの共催
「たくましい心と体を育てるには」
白石 豊 先生
- ・PTAとの共催
「子どもに注ぐ目、子どもを支える手」
白石 昌子 先生

成果と課題

成果

- 学びの物語・保育参加日→保育者や保護者の子どもの見取りの変化
- 一時預かり保育→子育てネットワークづくりへの発展(保護者)、積極的な行事・教育講演会等への参加(保護者)
保育のスキルアップ(ボランティア学生)、地域子育て支援へとつなぐ可能性(修了園児保護者)
- みんなの保健室→子どもの成長や体づくりについて相談援助・情報提供、参加した保護者同士で情報交換
- 教育講演会→大学との連携による様々な今日的な情報提供

課題

- 評価の工夫→アンケート集約、大学からの指導助言
- 大学とのさらなる連携の強化、教育講演会開催の工夫→広く地域の方に役立つ情報の提供
- 制度の改善→多くの方に参加してもらえる制度への改善、ボランティア等人材の確保、地域との連携

【問い合わせ先】福島大学附属幼稚園

〒960-8107 福島市浜田町12-39

TEL 024-534-7962

FAX 024-534-7972

E-mail youchien@asl.adb.fukushima-u.ac.jp

子育て支援の拠点としての附属幼稚園の役割 ～学内および地域の子育て支援の可能性を探る～

東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎

1. 附属幼稚園に求められる役割

幼保一元化施設や幼保小連携、子育て支援といった様々な改革が求められる今日、附属幼稚園にはこれまで以上の役割が求められている。

本園と本学幼児教育学分野は、月1回の定例合同研究会で話し合いを重ね、附属幼稚園の役割として、①教員養成、②教員研修、③カリキュラム・教材の開発・研究、④子育て支援の4つを掲げ、実践・研究を重ねてきた。ここでは、上記の試みの一つとして平成13年度より行っている地域向けの子育て支援活動について報告し、教員養成の基幹校としての東京学芸大学附属幼稚園ならではの地域貢献を追究する。

2. 地域に向けての子育て支援—未就園児親子の集い『にこにこふ～よん』—

■ 意義と内容

幼児教育職を目指す学生の
学びや研究の場として

- 就園前の親子と触れ合う場
- 乳幼児期の子どもの発達についての体験的理解
- 教材研究と子どもとのかかわりの体験
- 教員を見て学ぶ

学生の動き

前日まで

- ・教材準備と
教員との相談

当日

- ・保育前の打合せ
と環境の構成
- ・子どもとの触れ合い
- ・遊びのモデルと援助
- ・保護者との交流
- ・保育後、副園長を交えた反省会
- ・次回への申し送り（ノートへの記入）



地域の幼児教育センターとして

- 親子で過ごす空間、もの、ひとの提供
 - ・身体を思いきり動かせる空間
 - ・家庭にはない遊具・在園児との交流の場
 - ・保護者同士の出会いの場
- 子育て情報の提供
 - ・子育て相談
 - ・歌や絵本、親子遊びを紹介した通信の発行
 - ・保護者同士の情報交換
- 在園保護者が地域貢献する機会の提供
 - ・活動への参加



在園保護者が参画する赤ちゃんコーナー

活動の概要

日時：毎月1回程度

9：30 - 11：00※入退室自由

場所：本園遊戯室

対象：地域の未就園児と
その保護者（およそ50組）

内容：親子で好きな遊び
季節の製作・みんなで活動
子育て相談

附属幼稚園と大学との連携

- ・学生への指導
- ・活動の計画・運営



教材の使い方について、自主的に学生同士で打ち合わせ

■ 成果

①学生の実践的教育力の育成

学生が自主的に作成した「ふ～よんノート」で活動の記録や反省、次回への引継ぎを学生間で伝えあっている。また、教材や環境の構成について自ら考え、幼稚園教員に相談しながら準備している。

②共に子育てをする地域の保護者同士のつながり

就園、未就園にかかわらず、同じ地域に暮らし、共に子育て中の保護者同士が交流する場になりつつあり、相互に助け合いながら子どもを育てていく関係形成の一部を担っている。

■ 課題

①必要な時に必要な人が参加できる仕組み作り

②相談機能の充実

③『親子』への支援を意識した活動計画

④大学カリキュラムへの位置づけ

幼稚園と家庭が手を携えて ～子どもが育ち、保護者が育ち、教師も育つために～

大阪教育大学附属幼稚園

本園における子どもの成長に必要な子育て支援は、保護者自身が“子育てが楽しい”と思い、子ども理解を深め、親として育っていくことであると考え。保護者が保護者同士のつながりを大切にし、親として育ち、教師も共に育っていく中で子どもたちは健やかに育っていくと考え、教育課程にも家庭との連携を明記し、下記のような子育て支援を行っている。

PTA クラブの実施

- 保護者の有志が参加
(紙芝居・園芸・音楽・マジックなど)
- * 活動を通して保護者同士の交流を図る
 - * 活動成果を子どもたちへ還元し、保育に参画していく

地域も一緒に

年一回、地域の「町ぐるみ博物館」に参加。園を開放したり地域の施設に出掛けたりして、幼稚園、保護者が一体となって幼稚園の子どもだけでなく地域の子ともとかかわる。



保育参加

- 保育参観だけでなく保育参加してもらうことにより、園の教育内容や子ども理解を一層深める。
- * 誕生会、運動会保護者参加プログラムの企画など行事への参加

保護者も共に学ぶ

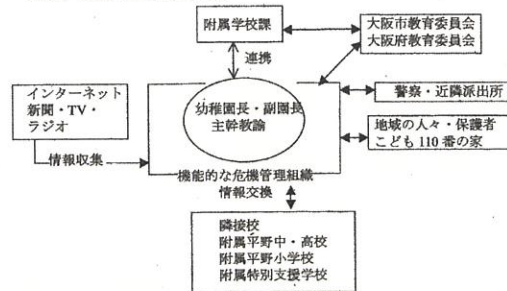
子どもの安全を守る

子どもたちが安全な園生活を送ることができるよう幼稚園と保護者が協力し合う。

- * 保護者用安全マニュアルの作成
- * 避難訓練の実施
- * 緊急メール発信の実施

平成 22 年度
防犯・防災、日常・緊急時 対応マニュアル(保護者用)
大阪教育大学附属幼稚園

<防犯・防災時の情報管理網>



手づくり給食の実施

保護者による手づくり給食を実施。保護者が栄養士・調理師と共に給食に携わることは幼児の食生活についての関心を高め、家庭での食事のあり方を見直す機会となっている。



給食懇談会・会食

保護者が給食づくりの全容を理解し、子どもと一緒に給食を食べたり、子どもの食生活について担任、栄養士と話し合ったりする。

給食参加

年長児保護者のみ、年1回実施。我が子以外の子どもが食べる様子を見て、保護者が家庭での食事のあり方を考えたり、担任と保護者が食育について話を深めたりする機会となっている。



子育ての悩みに応える

- ・学級・学年PTA (学期に1回)
- ・個人懇談 (学期に1回, 随時)
- ・話そう会 (月1回)
少人数で園長・副園長と子育てについて話し合う

【問い合わせ先】

大阪教育大学附属幼稚園

〒547-0032

大阪市平野区流町2-1-79

TEL : 06-6709-9400

FAX : 06-6709-6900

E-mail : yochi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

保護者・家庭の子育て力を高める子育て支援

兵庫教育大学附属幼稚園

◆本園が重点的に取り組んでいる内容

- ・保護者の育ちと園児の育ちがつながりをもった子育て支援
- ・教育課程の中に、園児の育ちとともに保護者の育ちの課題を設定し、子育て力を高める
- ・きつづくらぶ（様々な形の保育参加を含む活動）を中心にした活動
- ・地域とのつながりをもった子育て支援

保護者の育ちの課題（本園の教育課程より）

- 3歳児 I期：幼稚園生活を理解する。
II期：わが子の育ちに温かく目を向ける。
III期：幼児の世界があることを受け入れ、大切に思う。
- 4歳児 IV期：新しいつながりを喜び、関係づくりをする。
V期：わが子なりの育ちの姿を知る。
VI期：保護者同士のつながりを深める。
VII期：それぞれの保護者のよさを感じてかかわる。
- 5歳児 VIII期：保護者の活動のリーダー的役割を感じる。
IX期：わが子の成長から、子育ての楽しさを味わう。
X期：園生活への理解を深める。
XI期：園への感謝の気持ちをもち、わが子の修了を迎える。



◆きつづくらぶ：保護者が保護者として自ら成長することを目的とする活動（一部はPTAと連携して行っている）

子育てひろばへのスタッフとしての保育参加
園行事・学級の活動等へのスタッフとしての保育参加

- * 自発的な参加
- * 担当教師とともに計画し、事前事後の話合いを行う

→
→
→
→

- ・子どもの生活がわかる
- ・遊びの楽しさがわかる
- ・子どもの育ちやよさがわかる
- ・保護者がもっている力を発揮する
- ・日頃の不安やストレスを発散できる
- ・仲間ができる
- ・子どものためになる

↑ ↑ ↑ ↑

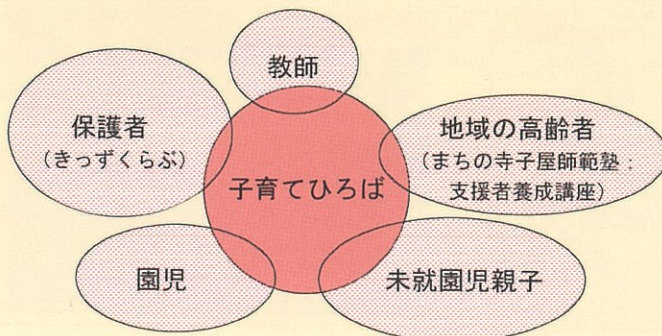
保育参加（親子活動、弁当参加等）
* 全員参加

にこにこ子育て講座と保育参観
* 年間5回程度、講座の前後に保育参観が可能

誕生会への参加と保育参加・懇談
* 誕生月の保護者が参加、保育参加や園長・副園長との懇談も行う

園長、副園長によるすこやか子育て相談
カウンセラーによる子育て相談

◆地域とつながりをもった子育て支援：子育てひろば（未就園児親子への園庭開放、年間12回程度）



問い合わせ先 兵庫教育大学附属幼稚園 〒673-1421 兵庫県加東市山国2013-4
Tel:0795-40-2227 Fax:0795-40-2228 <http://www.hyogo-u.ac.jp/kinder/>

附属幼稚園に求められる子育て支援

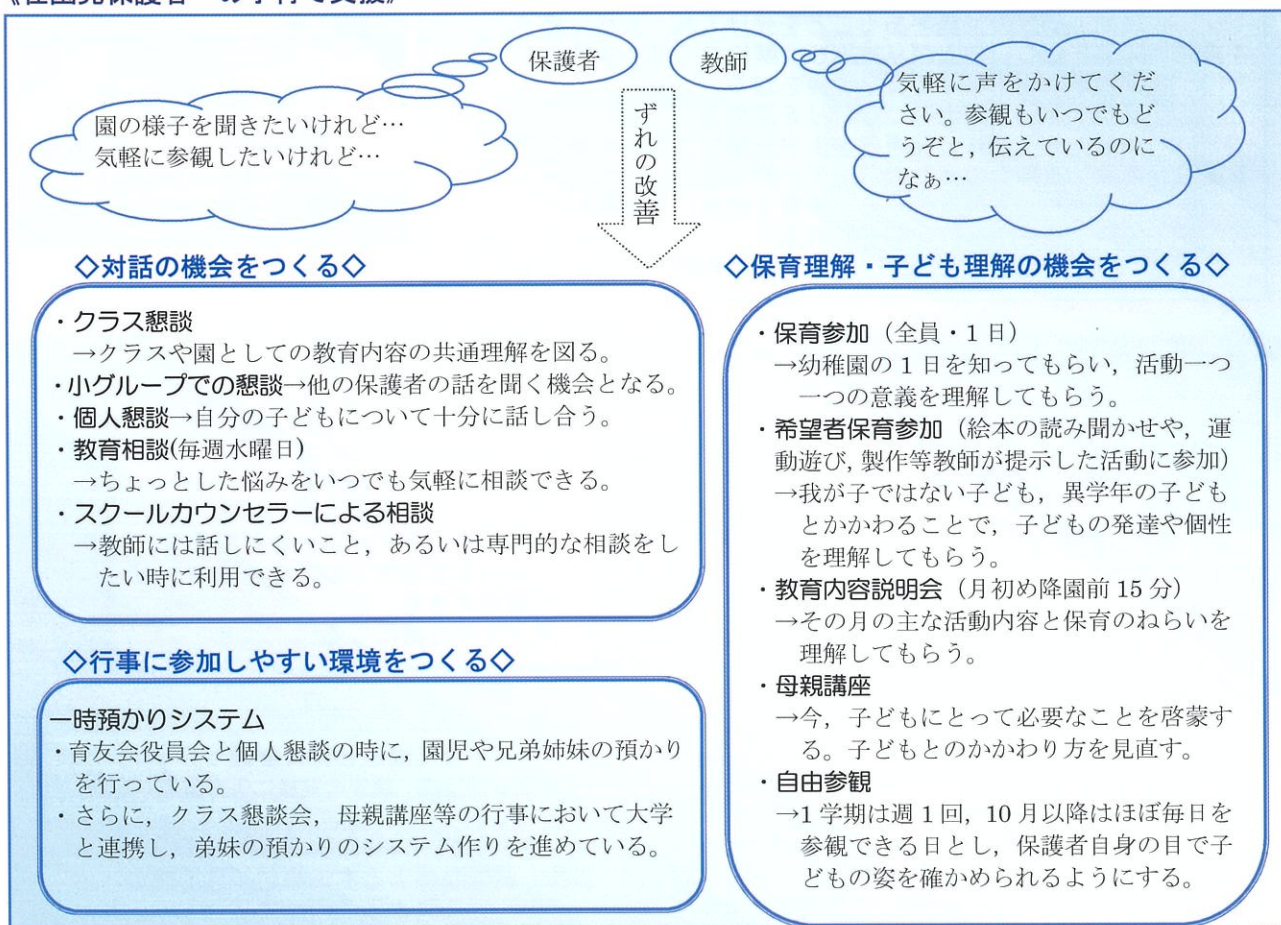
奈良女子大学附属幼稚園

《子育て支援を考えるにあたって》

- ◇参観・懇談等の後に行ったアンケートから見えてきた、保護者と教師の思いのずれを改善しよう。
- ◇園からの情報を伝える、様々な機会を作ろう。
- ◇のびのびと遊べる場の提供をし、今、子どもに必要な経験とは何かということを発信し続けよう。
- ◇参観や懇談をはじめ、園の行事に保護者が参加しやすい環境を作ろう。

この四つの視点をもとに今までの子育て支援の取り組みを見直し、以下のような実践をしている。

《在園児保護者への子育て支援》



《地域への子育て支援》

- ・カンガルー広場(園庭開放)とカンガルー相談(子育て相談)
→月に1回程度(土曜日午前中)と夏休み・春休み期間中。
- ・カンガルー劇場
→在園児保護者(コーラス部・人形劇部)による発表会。
- ・親子で遊ぼう
→幼稚園教師や大学の先生による親子参加型のイベント
「楽器を作ろう・踊ろう」「粘土で遊ぼう」「絵の具で遊ぼう」「親子体操」等

親子で遊ぼう



問い合わせ先 奈良女子大学附属幼稚園

〒631-0036 奈良市学園北1丁目16-14

Tel 0742-45-7261

E-mail fuyo-admin@cc.nara-wu.ac.jp

親と子の育ちを支える子育て支援

島根大学教育学部附属幼稚園

本園の子どもたちの育ちに関する課題

子育てに不安をもつ親の増加

← 保護者同士のつながりの希薄さ・少子化
核家族化, 子育てに関する情報の氾濫

体を動かす機会の減少や直接体験の不足

← 習い事の増加・遊び場の減少・自転車や自動車による送迎
交通事故や不審者などの安全上の問題

本園子育て支援の願い

- ★子ども理解や親子の絆を深める。
- ★保護者同士のつながりを深める。
- ★遊びや直接体験を充実させる。
- ★日頃の子育てを見つめ直し, よりよい子育てへの手がかりをつかめるようにする。

本園の特徴

- ★自然環境に恵まれている園庭
- ★大学や地域の豊かな人材
- ★小学校, 中学校と隣接している立地条件

子育て支援プログラムの実際

フリートーク

～保育時間を活用した保護者の活動～
保護者同士のつながりの深まりや気づきづくり

誕生会フリートーク

テーマは特に設定しない (9:00～10:00)
誕生会の日の登園後, 誕生会までの時間
異学年の保護者のつながりづくり

学年フリートーク

テーマを一応設定するが, 柔軟に対応
学期に各学年1回開催 (9:00～10:30)
同学年の保護者のつながりづくり

- 【年少】★親がつながることの意味
★子どもの様子で気になること
- 【年長】★年長児としての園でのくらしについて
★就学に向けて大事にしたいこと

子育てフリートーク

テーマに沿った講話と少人数の話し合い
年間6回実施 (9:00～10:30)
地域の人も参加可能
大学・地域・本校校園から講師を招請

- ★子育て不安との向き合い方
- ★幼児の生活リズム
- ★子どもの困り感に寄り添う
- ★読み聞かせのすすめ
- ★自分ってステキ
～自己肯定感を育む～
- ★子どもの発達と造形活動

親子ふれあい広場&講座「そら」

～放課後を活用した親子での活動～
親子の絆の深まり・遊びや体験の広がり

親子ふれあい広場「そら」

放課後週2回 (13:30～14:30)
園庭及び遊戯室, 絵本の部屋の開放

- ★親子で遊ぶ場
- ★できるようになったことを認める場
- ★子ども同士のかかわりを見つめる場

親子ふれあい講座「そら」

年間9種類の講座を開設 (13:30～15:00)
一講座1～3回開講
→希望者全員の参加が可能
小学校の施設も利用
大学教員や地域の方から講師を招請

- ★おやつを作ろう
- ★園庭の植物発見
- ★からだであそぼう
- ★親子で実験!?
- ★園庭だいいぼうけん
- ★英語であそぼう
- ★日本の文化体験
～座禅と精進料理～
- ★ハッピーのざぶとんコンサート
- ★木育
～木であそぼう～

親と子の育ち

子育ての楽しみゆとり

成果

保護者の心の安定

子どもや子育てに関する気づき

直接体験の充実

保護者のつながり

親子のふれあい

広場「そら」
自分でみつけた遊び

講座「そら」
意図的に設定された活動

フリートーク

保護者同士の話し合い
専門的な見地からの講話

子育て支援プログラムのかかりと成果

問い合わせ先 島根大学教育学部附属幼稚園
Tel 0852-29-1120 Fax 0852-29-1124

〒690-0882 松江市大輪町416-4
Email sora@edu.shimane-u.ac.jp

平成23年度 全国国立大学附属幼稚園研究テーマ等一覧

	幼稚園名	研究テーマ	公開研究会等
1	北海道教育大学 附属旭川幼稚園	幼児の社会性を育む教育的支援のありかた	23.10.15(土)
2	北海道教育大学 附属函館幼稚園	今、幼稚園に求められる子育て支援とは(2) -預かり保育の質を高める2つの視点-	23.10.28(金)
3	弘前大学教育学部 附属幼稚園	協同的な学びを考える -一人一人の変容を通して-	なし
4	岩手大学教育学部 附属幼稚園	学びの基礎を培う遊びの充実を目指して -豊かな感性と表現をはぐむ遊びの環境と援助を考える-	23. 7. 9(土) (事例研究会)
5	宮城教育大学 附属幼稚園	かかわる力を育てる -協同して遊ぶ姿をめざして-(3年次)	23.10.28(金)
6	秋田大学教育文化学部 附属幼稚園	子どもの遊びを見つめる -幼児の主体的な遊びを中心とする教育課程の編成-	23. 7. 1(金)
7	山形大学附属幼稚園	自然とかかわりながら活動を生み出す子を育む	23. 6. 1(水)
8	福島大学附属幼稚園	保育を見つめ直す -学びの物語を通してのカリキュラムづくり-	23. 6.10(金)11(土) 10.28(金)29(土)
9	茨城大学教育学部 附属幼稚園	子どもの豊かな育ちを支える -日々の保育記録を通して-	23.11.11(金) 24. 2. 7(火)
10	宇都宮大学教育学部 附属幼稚園	仲間の一員としての「私」の在り方 -小・中学校へつながる規範意識-	23. 6.16(木)
11	群馬大学教育学部 附属幼稚園	思考力の芽生えを養う保育の追究 -〈もの〉とのかかわりに着目して-	23. 6. 9(木) 23.10.22(土)
12	埼玉大学教育学部 附属幼稚園	蓄積された園文化に基づく実践資料の作成2	23.11.19(土)
13	千葉大学教育学部 附属幼稚園	心が動く子どもの育成をめざす教育課程	23. 9.28(水)
14	東京学芸大学 附属幼稚園小金井園舎	今日から明日へつながる保育 -協同性に着目した指導計画の作成-	23.12.10(土)
	東京学芸大学 附属幼稚園竹早園舎	主体性を育む幼・小・中連携の教育	未定
15	お茶の水女子大学 附属幼稚園	環境に対する豊かな感受性を育む	23. 9.16(金) 24. 2.10(金)
16	山梨大学教育人間科学部 附属幼稚園	子どもが自らかかわり創り出す園生活	23. 6.18(土)
17	新潟大学教育学部 附属幼稚園	社会的な知性を培う	23.10.20(木)
18	富山大学人間発達科学部 附属幼稚園	豊かな心をはぐくむ -内面の高まりを支える-	23. 6.24(金)
19	金沢大学附属幼稚園	自分づくりを支える生活プランの作成	23. 6. 8(水)
20	福井大学教育地域科学部 附属幼稚園	伝え合う ひびき合う -協同して遊ぶ姿を求めて-	23.11. 5(土)
21	信州大学教育学部 附属幼稚園	生き生きと遊ぶ子ども -遊びが展開するきっかけをみつめて-	23.10.29(土)
22	上越教育大学 附属幼稚園	幼・小の円滑な接続を促す幼児教育の推進	23.10.12(水)
23	静岡大学教育学部 附属幼稚園	かかわりを育む環境	23.11.22(火)
24	愛知教育大学 附属幼稚園	心豊かな幼児の育成 -人とかかわりに視点をあてて-	23.11.10(木)

	幼稚園名	研究テーマ	公開研究会等
25	三重大学教育学部 附属幼稚園	子どもの目が輝く保育環境を考える	23.11.12(土)
26	滋賀大学教育学部 附属幼稚園	もの・人・自分に向き合いながら自分と相手との関係性を創り出す子どもをめざしてー協同する経験と教師の役割ー	23.11.25(金)
27	京都教育大学 附属幼稚園	「響きあうコミュニケーション」の力を育む	24. 2. 2(木)
28	大阪教育大学 附属幼稚園	かかわる力を育む～個の伸びに着目して～ ーかかわる力を育むための環境構成のあり方を探るー	23.11. 5(土) 11. 6(日)
29	兵庫教育大学 附属幼稚園	保育における「つながり」を考える ー自然・体験・仲間ー	23. 5.25(水) 23.10.29(土) 24. 1.25(水)
30	神戸大学附属幼稚園	幼稚園教育と小学校教育の接続期における円滑な接続のための新分野創設にむけたカリキュラムと指導方法等の研究開発 (公開研究会テーマ：子どもにとっての遊びの意味を問い直す)	23. 8. 5(金)
31	奈良教育大学 附属幼稚園	幼児期に必要な体づくりを考える	23.11.26(土)
32	奈良女子大学 附属幼稚園	幼小一貫教育において「読解と表現をくつなぐ」論理的思考力」を育成する教育課程の研究開発 (3年次)	23.11.11(金)
33	鳥取大学附属幼稚園	学びをつなぐカリキュラムの創造	23.10.21(金)
34	島根大学教育学部 附属幼稚園	豊かな「社会生活」を創造する幼小中一貫教育の追究	23.11. 4(金)
35	岡山大学教育学部 附属幼稚園	考える力を育てることばの教育	23.11. 9(水)
36	広島大学附属幼稚園	森で育つ：森の幼稚園の保育プラン ー安心度・夢中度という視点で子どもの経験を振り返り、明日の保育を探るー	23.11.16(水)
37	広島大学 附属三原幼稚園	幼小中一貫の教育力を生かした創造的問題解決能力の育成 ー国際的資質としての人間関係力を基盤としてー	23.11.25(金) 11.26(土)
38	山口大学教育学部 附属幼稚園	子どもの育ちを促す保育環境の充実 ー体を動かすことを楽しむ生活ー (4年次)	23.11. 2(水)
39	鳴門教育大学 附属幼稚園	幼小接続の教育課程開発 ー遊誘財がひきだす科学的思考ー	24. 2.11(土)
40	香川大学教育学部 附属幼稚園坂出園舎	教育課程の再編に向けて ー幼児期の教育から小学校教育へー	24. 1.27(金)
	香川大学教育学部 附属幼稚園高松園舎	食べること 生きること	24. 2. 3(金)
41	愛媛大学教育学部 附属幼稚園	未来を拓く力の育成	24. 2.10(金)
42	高知大学教育学部 附属幼稚園	発達連続性をふまえて経験の意味を問う ーよく考えて行動する子どもを育む行事のあり方ー	未 定
43	福岡教育大学 附属幼稚園	幼から小への連結を～伝承遊びを生かした人間関係力育成の試み～ ー伝承遊びを効果的に取り入れた人間関係育成プログラムの作成ー	24. 2. 4(土)
44	佐賀大学文化教育学部 附属幼稚園	遊びをみつめる ー遊びと生きる力ー	24. 2.19(日)
45	長崎大学教育学部 附属幼稚園	附属小児童・附属中生徒の発達を見通した幼児教育の在り方	23.10.28(金)
46	熊本大学教育学部 附属幼稚園	未 定	24. 1.28(土)
47	大分大学教育福祉科学部 附属幼稚園	豊かな心と創造性を育む	23.11.26(土)
48	宮崎大学教育文化学部 附属幼稚園	かかわる力を育てる援助の在り方 ーわらべうた遊びを通してー (3年次)	24. 2. 3(金)
49	鹿児島大学教育学部 附属幼稚園	かかわる力を育むII ー言葉の育ちに着目してー	24. 1.20(金)



—発行—

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

—事務局—

埼玉大学教育学部附属幼稚園

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤8-13-1 TEL:048-833-6288 FAX:048-831-2010
e-mail:mikan38@mail.saitama-u.ac.jp